

町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信

～ 事業所訪問 vol.3 ～

「両神興業株式会社」

町内には、優れた技術を持った会社が多く
存在します。事業所の持つ技術や
魅力を町長自ら訪問して、目で見
て、お話を伺い、住民に情報発信する
「事業所訪問」を
連載します。



西村社長から採石現場の説明を受ける森町長

町長の見て・聞いて・話して

第3回の事業所訪問は、4月13日に両神小森の両神興業(株)を訪問し、西村耕一社長、久喜聡川塩事業所所長に川塩事業所の採掘現場を案内していただきました。

両神興業(株)は、両神地域内で資源の有効活用ができないかとの思いから、地質調査をした結果、両神川塩地区に日本では稀な良質硬質砂岩の鉱床を発見したことにより、1966年(昭和41年)から創業が始まりました。

砕石は、建設現場でコンクリートやアスファルト、道路の側溝等の材料として多方面で利用されています。製品として目に触れるものでは秩父ミューズパーク野外ステージの石積工で川塩採石場の原石を使用しています。

製造の工程として発破により岩石を起砕し、一次破碎後、数次の破碎、整粒から選別の末、製品となり、1カ月に約6～7万トンを生産し、10トンのダンプカーで1日に延べ200台ほど出荷しているとのこと。想像できないほどの生産量でした。

10年ほど前には、女性の雇用の場の確保を考え、現在の「おがのファーム」を設立し、いちごの生産を始め、観光客等にも人気となっております。

砕石業のプロとして培ってきた知識と技能を組織だった方法で構築し、社長の地域に根ざした産業、地元に貢献できる企業を目指している思いが伝わる温かい企業であると感じました。

わが社の主力製品

わが社は18種類の商品を製造し、主な用途としてはコンクリート二次製品用、アスファルト舗装用、生コンクリート用、一般土木用など、インフラ整備には欠かせない製品です。

身近に使用できる砕石は「砕石2005 20～5mm」で敷砂利として注文により配達をします。

ここに自信あり

川塩事業所における砕石原石の分布・岩質は両神山の東側に位置し、小森川の川塩地区より^{とんび}鳶岩に至る約1.5kmの間、両岸1km幅をもって塊状をなし、表土のほとんどない均一で極めて良質な硬質砂岩^{タイト}であります。「リョータイト」は、ここ両神の硬質(tight)な砂岩から商品名を登録し、埼玉県採石登録第1号を取得しています。わが社の製品は品質が安定しており、特に高強度が必要な生コン、コンクリート製品に用いられ、安心して使用できると多くの取引先に喜ばれております。



◀ 広大なプラント全景



起砕された岩石は油圧ショベルにより46トンダンプカーに積込まれます。

会社概要

代表者 代表取締役社長 西村耕一
従業員数 46名
創業 1966年10月
所在地 本社:秩父市下宮地町18番1号
川塩事業所:小鹿野町両神小森4075-2
☎0494-79-1133

